

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	西成区
学校名	大阪市立橋小学校
学校長名	彌田 晴彦

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立橋小学校では、第6学年 49名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科、算数科、理科の平均正答率では、全国・大阪市と比較すると下回っている。特に理科は大きく下回っている。

国語科では、どの領域においても、全国・大阪市の平均正答率よりも低くなっている。さらに内容においては、「情報の扱い方に関する事項」については、平均正答率が大きく下回っている。他の内容についても全国平均を下回っている問題が多いが、無解答率は、全体的に低く、あきらめずに答えようとしている。

算数科では、「測定」領域について全国的にも正答率は低くなっている。また、「思考・判断・表現」の問題については、求め方を書いたり、問題文や資料から情報を読み取って答えを選択したりする問題の正答率が低く、無解答率も全国よりも高くなっている。

理科では、「生命」領域において、全国・大阪市の平均正答率よりも低くなっている。しかし「エネルギー」領域については、大阪市平均正答率に迫っている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

時間的な順序や事柄的な順序を考えながら内容の大意を捉えたり、目的や意図に応じ、話の内容を捉えることは、正答率が全国・大阪市平均よりも上回っている。自分の考えをまとめて発表する機会を多く設けてきた成果がみられる。しかし、情報の扱い方に関する事項の問題や漢字を文の中で正しく使うことができるかを見る問題は、正答率が低い。中でも、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題に課題が見られる。

〔算数〕

分数の加法において、共通の単位分数を見つけ、文章で説明する問題や2つの変化する数量関係を基にして考える問題、「台形」の意味や性質の理解につながる問題の正答率は、全国や大阪市と比べても高くなっている。しかし「思考・判断・表現」の問題では、形式を問わず正答率が低くなってしまっており、特に、分かったことを言葉と数を用いて記述することに課題が見られる。

〔理科〕

土の粒の大きさによる水のしみ込みの違いや土の量と水の量を適切に設定した実験の方法を考える問題や身の回りの金属の性質について考える問題は、全国・大阪市平均よりも上回っている。しかし、乾電池のつなぎ方やヘチマの花のつくりや受粉についての知識を問う問題は課題が見られる。水が氷に変わる温度を根拠に海の氷の面積が変化した理由を考える問題は正答率が低い。^{1か月無回答率は全国・大阪市平均よりお下回っています}

質問調査より

本校児童は、全国・大阪市と比較すると「朝食を毎日食べる」など生活習慣が不安定な家庭が多く、最も肯定的な回答をする児童が多い設問でも、最も否定的な回答をする児童も多い。児童を含む家庭への支援を学校だけでなく、地域全体で進めてきた結果、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」という肯定的な回答が多くなっている。

「学校へ行くのは楽しい」や「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「友だち関係に満足している」と思う児童も多く、人との関わりを大切にしてきた成果が見られる。どの教科の学習でも、協働的な学びの中で自分の考えを深めたり広げたりすることへ意欲的に取り組むことができるようになってきている。

今後の取組(アクションプラン)

- ・学習意欲の低い児童に対して、家庭での学習習慣をつけるために、宿題以外にも自主学習の取組をさらに進める中で、学習する楽しさを味わえるようにする。
- ・学力向上支援チームの指導助言のもと、課題のある児童への個別支援の在り方や、各種データを分析した結果をもとに、放課後学習などでは、デジタルドリルを活用して躊躇に応じた学習を進める。
- ・読解力の向上をめざした取組を日々の授業の中で、全員が意識して実践していく。
- ・授業の中で、自分の考えをもち友達と話し合う活動を積極的に取り入れ、資料をもとに根拠を説明したり、特徴を分かりやすくまとめたりできるようにする。
- ・家庭での過ごし方の改善については、保護者への啓発を図る取組を続けていく。

【 全体の概要 】

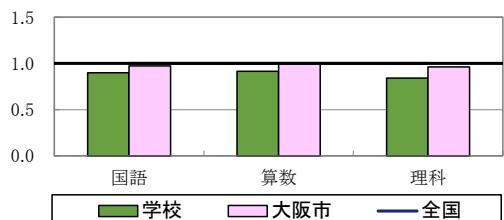
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	60	53	48
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

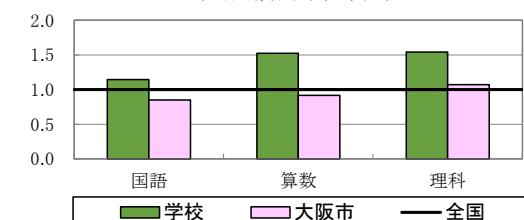
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	3.8	5.5	4.3
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



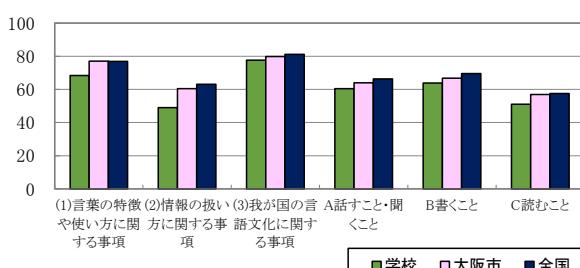
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	68.4	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	49.0	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	77.6	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	60.5	64.0	66.3
B 書くこと	3	63.9	66.7	69.5
C 読むこと	4	51.0	56.9	57.5

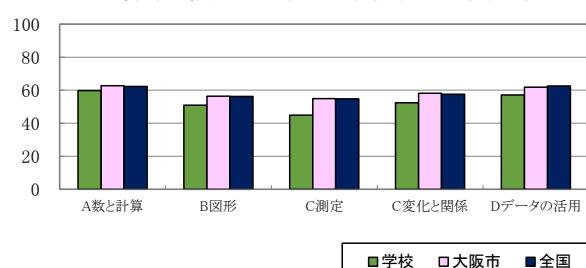
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	59.7	62.7	62.3
B 図形	4	51.0	56.4	56.2
C 測定	2	44.9	54.9	54.8
C 変化と関係	3	52.4	58.2	57.5
D データの活用	5	57.1	61.9	62.6

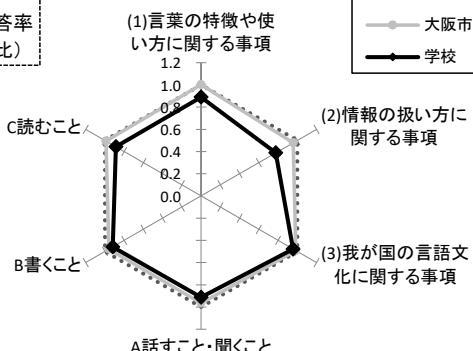
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



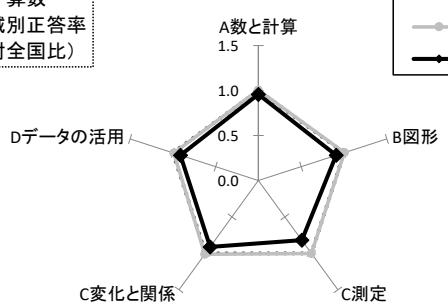
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

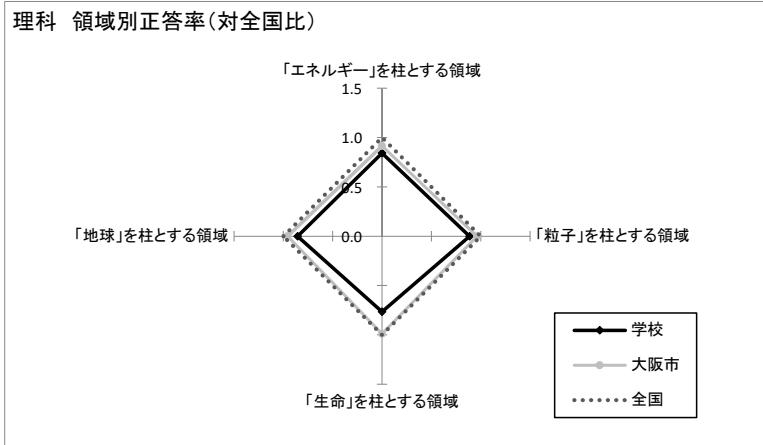
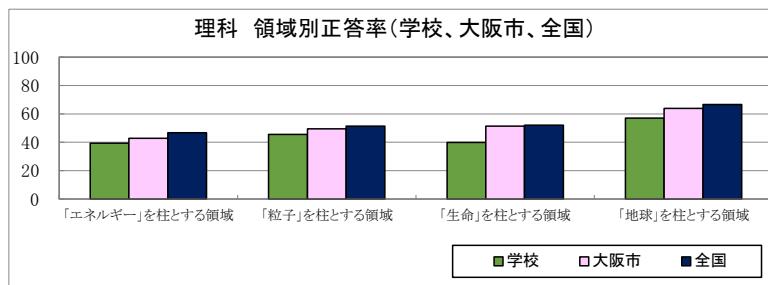


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	39.3	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	45.6	49.5
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	39.8	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	57.1	63.8



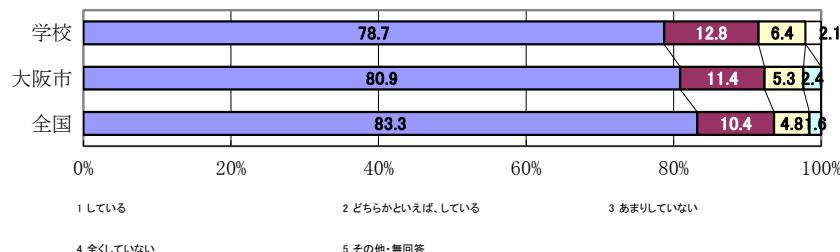
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

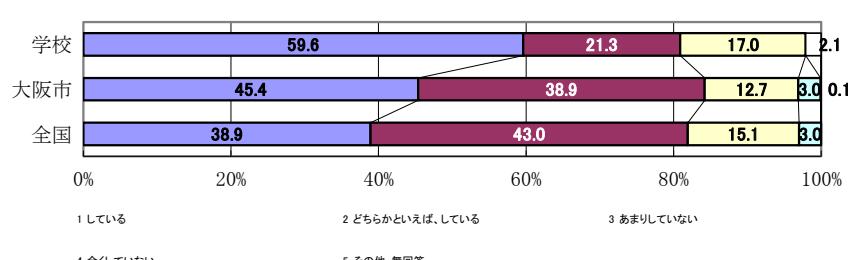
1

朝食を毎日食べていますか



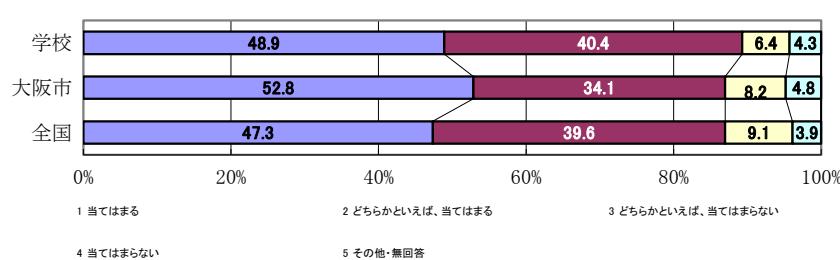
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



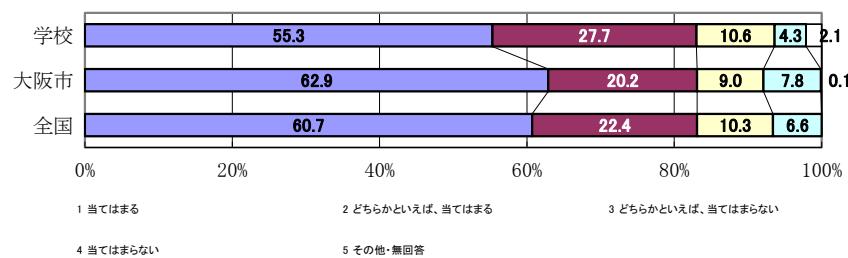
5

自分には、よいところがあると思いますか



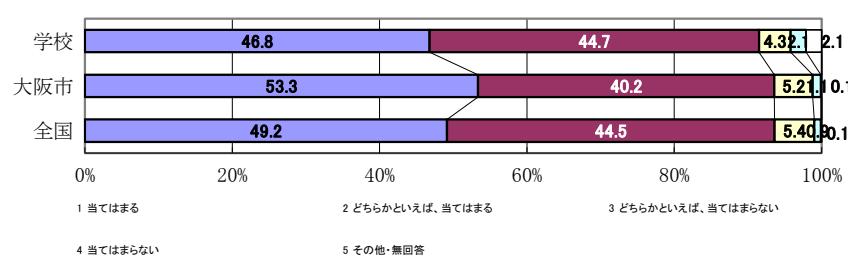
7

将来の夢や目標を持っていますか



8

人が困っているときは、進んで助けていますか



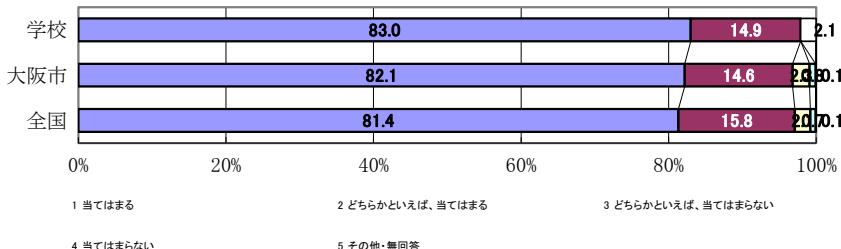
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

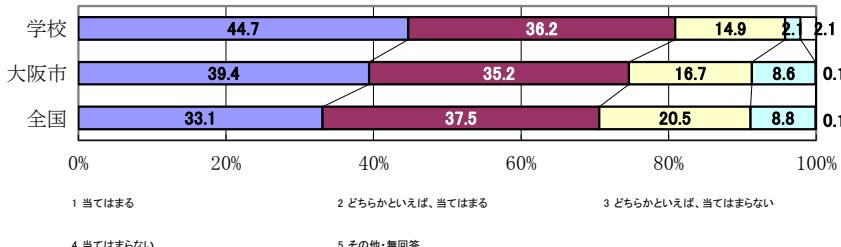
9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



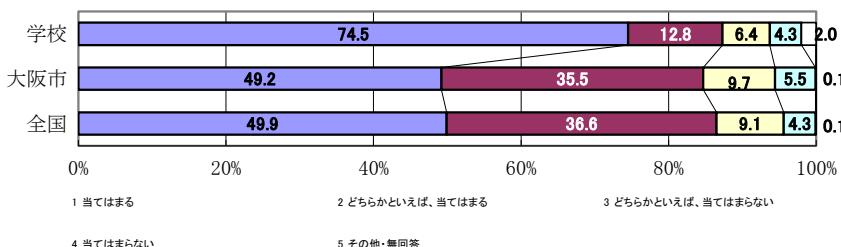
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



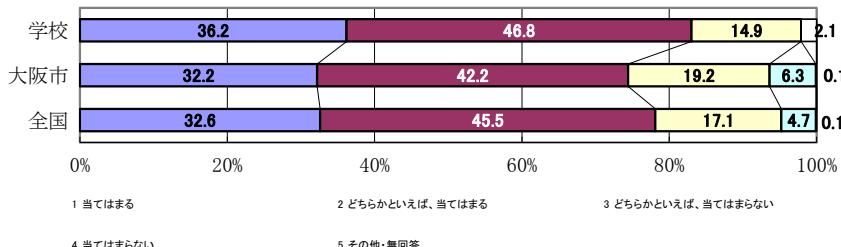
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



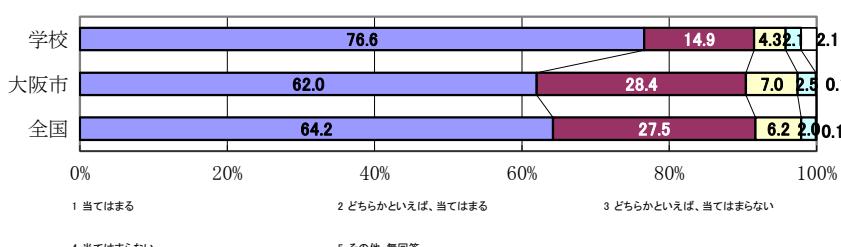
13

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



14

友達関係に満足していますか



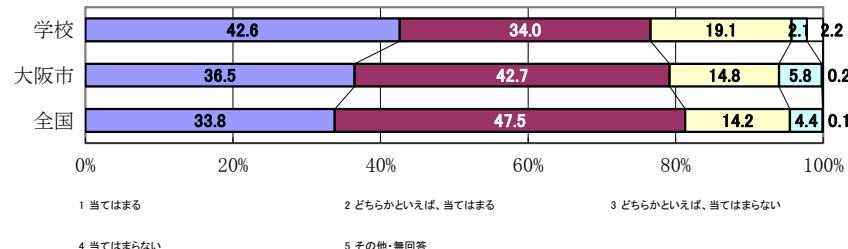
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

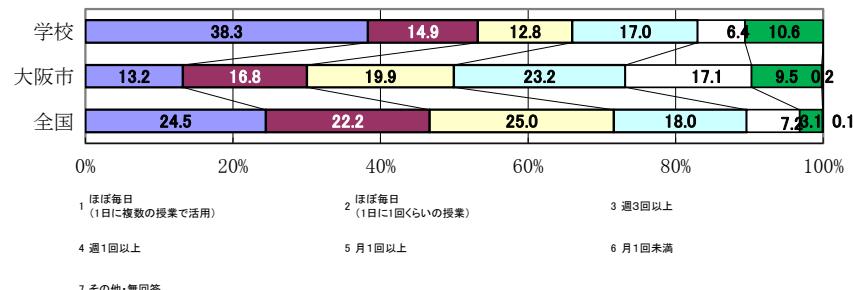
27

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



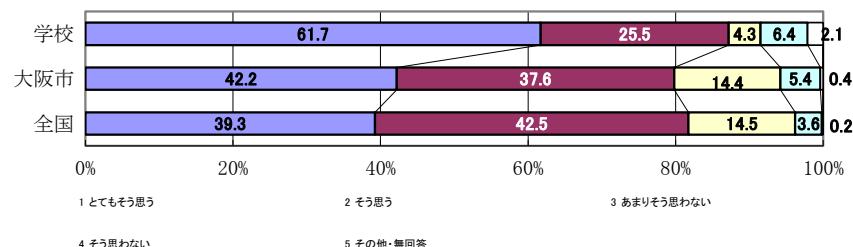
28

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



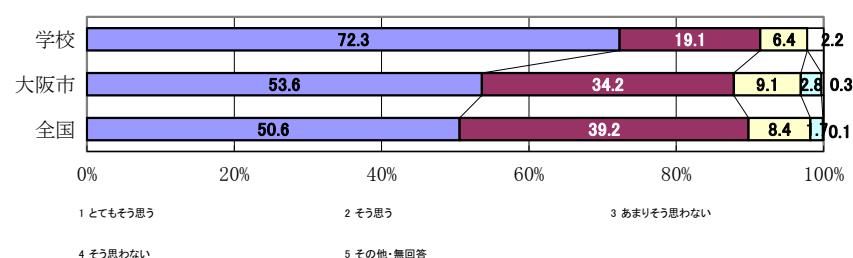
72

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると思いますか



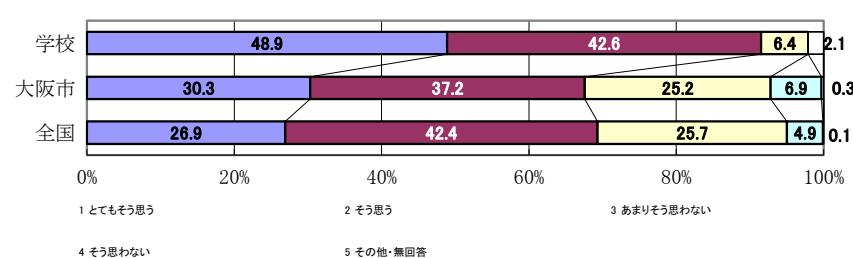
73

あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができると思いますか



74

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ができるだと思いますか



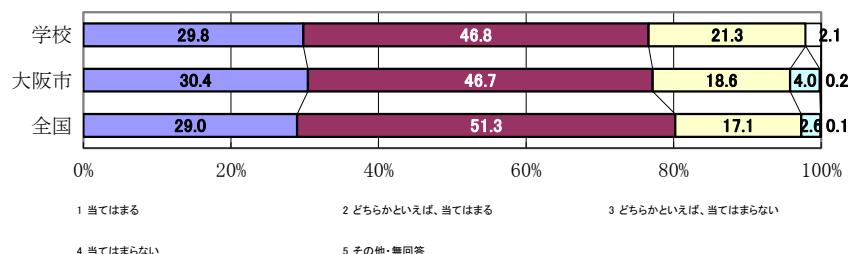
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

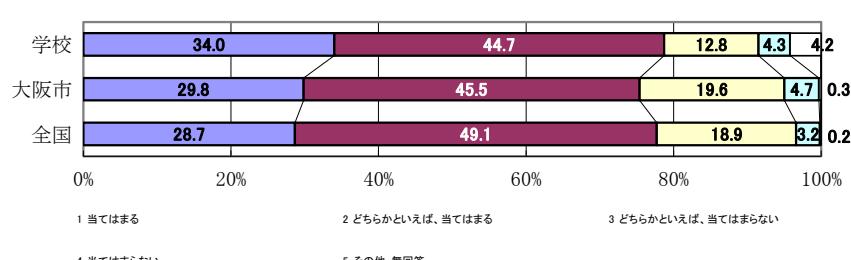
32

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



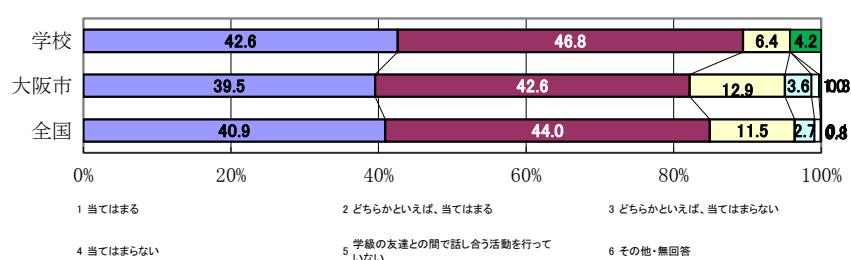
33

5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



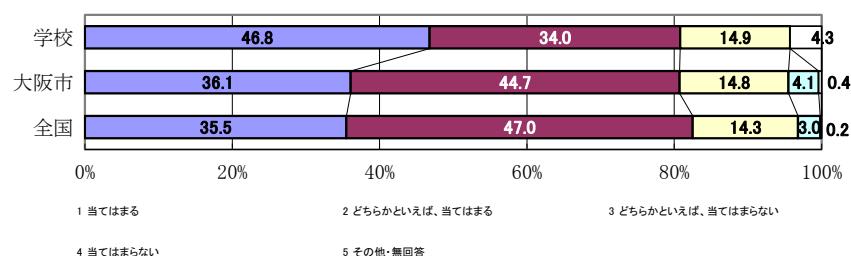
35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか



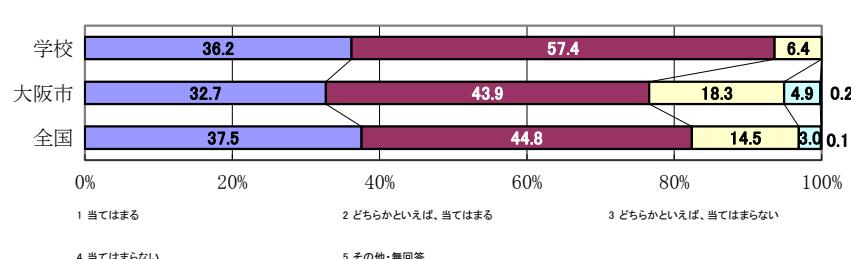
37

授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか



40

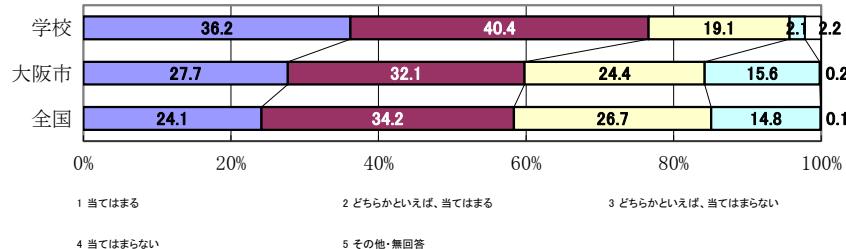
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



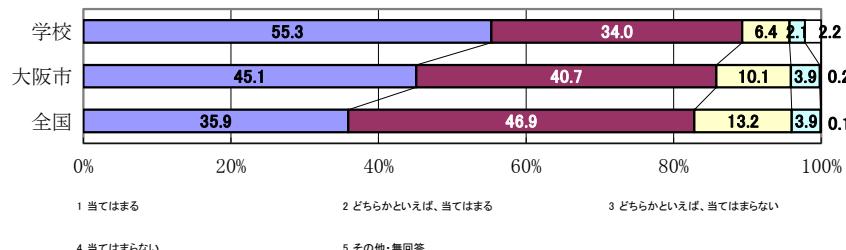
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

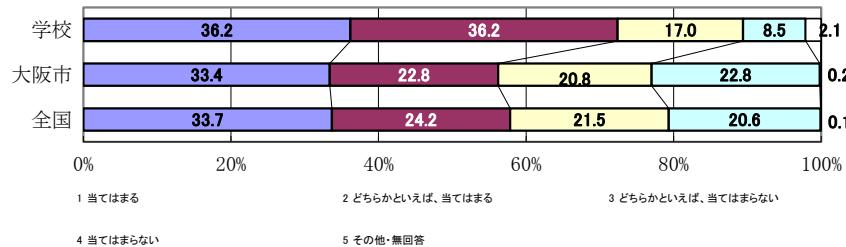
質問番号
質問事項
45
国語の勉強は好きですか



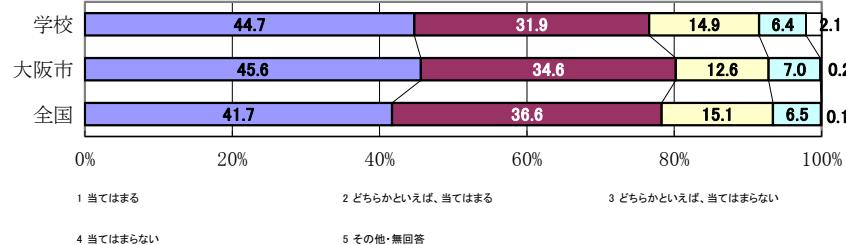
46
国語の授業の内容はよく分かれますか



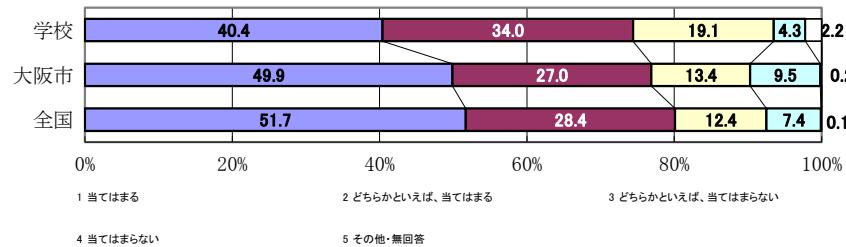
53
算数の勉強は好きですか



54
算数の授業の内容はよく分かれますか



61
理科の勉強は好きですか



児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

62

理科の授業の内容はよく分か
りますか

